

記入箇所と手順を可視化する「トリアージタグテンプレート」の考案

倉敷市消防局（岡山県） 石井 健

1 背景

多数傷病者事案において、重症度や緊急度を判断し、治療の優先順位を決定するためにトリアージを行います。その際、傷病者情報を管理するためにトリアージタグ（以下「タグ」という。）を用いて情報を記入しています。

タグには、17項目にわたる必要な情報を确实かつ迅速に、過不足なく限られたスペースへ記入していく必要があります。しかし、これらの情報を記入する場面は、出動中の救急車内から始まり、一次トリアージ、二次トリアージ、三次トリアージ、そして搬送車両へと移り変わり、その都度、記入する隊員も異なります。また、タグを現地本部へ手渡す手順なども必要不可欠で、一連の取扱いが単純とは言えません。【資料1】

所属の救急隊員82名を対象に、タグの記入や手順に関する認識度のアンケート調査を行なったところ、9割以上の隊員が「タグの取扱いに関して少なからず不安を抱いている」ということがわかりました。【資料2】

そこで、隊員の習熟度に関わらず、正しくタグを取扱うことができるようにするため、記入箇所と手順を可視化する「トリアージタグテンプレート」（以下「タグテンプレート」という。）を考案しました。【資料3、4】

2 タグテンプレート考案のコンセプト

- (1) 場面ごとの記入項目と手順が「可視化」されること。
- (2) 習熟の必要がなく、簡単な操作で使えること。
- (3) タグの下敷きとしての役割も担うこと。
- (4) ツール自体が教養資料になること。

- (5) 省スペースで積載でき、携行性に優れること。

3 概要

コンセプトを満たすための主な材料として、加工性が良く、軽量のクリアファイルとプラスチック板を使用して作成しました。

(1) 作成方法と使用方法

まず、クリアファイルとプラスチック板を【資料5-1】のように加工します。次に、タグをクリアファイル内の設定位置に合わせ、記入項目をマーキングして切り抜きます。そして、台座となる、プラスチック板に張り付け、補足説明を表示します。各場面、同じ手順で作成し、一式をリングバイnderにまとめて完成です。【資料5-2、5-3】

なお、当市では、4枚綴りのタグを使用しています。消防本部によって、仕様やマニュアルに違いはあると考えますが「マーキングして切り抜く位置と項目」を調整することで対応することができます。

使用方法は、タグテンプレートの右端からタグを挿入し、左上角部の当たり止め部分にタグをあわせ、マーキング箇所に情報を記入します。【資料6】

なお、省スペースで積載でき、携行性にも優れているので、突発的に対応が求められても、すぐに取り出し使用することができます。【資料7、8】

(2) 作成費用

材料は、100円均一ショップでも購入できるもので作成しました。内訳は、クリアファイル（B6サイズ10枚入り）を1つ、プラスチック板（B5サイズ厚さ1mm、2枚入り）を2つ、リングバイnderを1つ購入し、合計440円（税込）と低コストで作成することができました。

4 検証

所属において、同じ想定内容の多数傷病者事案対応訓練（活動隊員30名、緊急度区分と傷病者数、赤：3名、黄：4名、緑：5名）を2日連日で行いました。1日目の隊員は、訓練直前にタグテンプレートの取扱い説明を行い、訓練でもタグテンプレートを使用してタグを記入しました。2日目の

隊員はタグテンプレートを使用せず、通常の方法で記入しました。

(1) 対象と方法

2日間の訓練終了後、両日のタグ2枚目（指揮本部用）を対象に、記入漏れや手順の誤りがないかなどの正確性を検証しました。

(2) 結果

タグテンプレートを使用しなかった2日目では、必須項目の記入漏れが複数箇所ありましたが、使用した訓練日では、ほぼ記入漏れはありませんでした。また、初めて使用した隊員からは「簡単に使えて、記入箇所がすぐにわかって役立った。」との感想が多く、習熟の必要もなく、すぐに使用できたことで、実用性と有用性を確認できました。【資料9】

5 期待される効果

タグテンプレートは誰もが簡単に使用でき、記入漏れや手順のエラーを防ぐことができます。また、タグテンプレート自体が記入要領や手順の教育ツールとなるため、隊員のスキルアップを図ることができます。その結果、活動全体を円滑にする効果が期待できます。

6 まとめ

多数傷病者事案において、タグの記入は必要不可欠であるとともに、確実性と迅速性が求められます。しかし、騒然とする災害現場の状況下では隊員は冷静さを欠き、エラーが発生し活動が遅延する恐れがあります。

今回考案したツールが、どのような現場状況においても、冷静、確実かつ迅速なトリアージ活動のサポートツールとなり「防ぎ得た災害死」を減らし、より多くの傷病者にとって有益な活動の一助となることを期待します。

【資料 1】 トリアージタグ（4 枚綴り）の取扱いに必要な操作（順不同）

① 氏名 (Name) ② 性別 (Sex) ③ 年齢 (Age) ④ 生年月日 (Date of Birth)

⑤ 住所 (Address) ⑥ 電話番号 (Phone Number)

⑦ トリアージ実施月・日・時刻 (Triage Date/Time) ⑧ トリアージ実施場所 (Triage Location)

⑨ 搬送機関 (Conveyor) ⑩ 搬送機関名 (Conveyor Name)

⑪ トリアージ実施機関 (Triage Institution) ⑫ トリアージ実施機関名 (Triage Institution Name)

⑬ トリアージ実施機関 (Triage Institution) ⑭ トリアージ実施機関名 (Triage Institution Name)

⑮ トリアージ実施機関 (Triage Institution) ⑯ トリアージ実施機関名 (Triage Institution Name)

⑰ トリアージ実施機関 (Triage Institution) ⑱ トリアージ実施機関名 (Triage Institution Name)

トリアージタグに記入する場面は出動中、現場、トリアージポスト、応急救護所、搬送車両へと変化し記入する隊員も異なる

記入箇所は 17 項目あり
□ の項目はトリアージする度に記入する

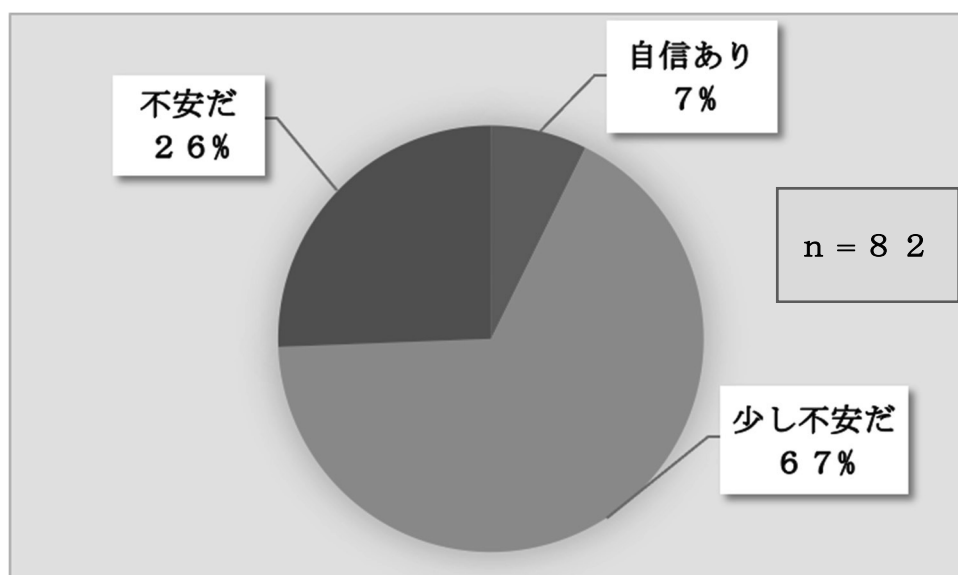
1 枚目と 2 枚目は現地本部へ手渡す

1st トリアージ後にもぎる

【資料 2】 所属救急隊員を対象にしたアンケート調査結果（匿名選択式）

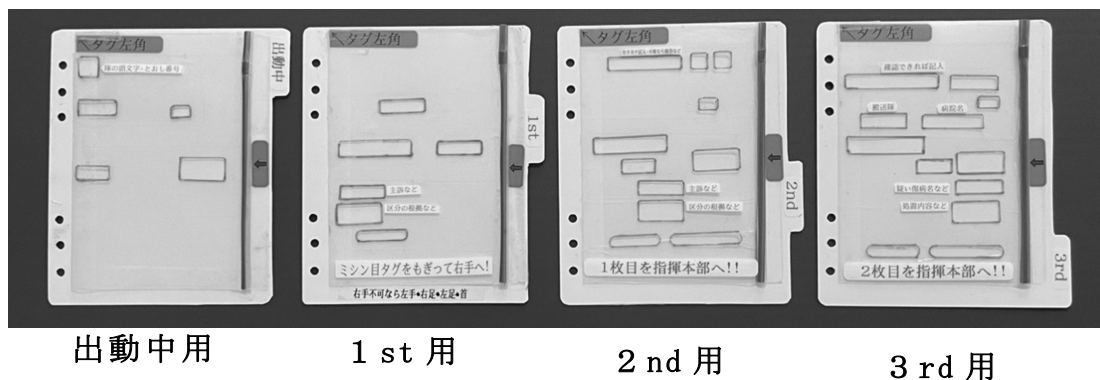
＜質問内容＞

「トリアージタグの記入と手順について認識度を回答してください。」



【資料 3】 トリアージタグテンプレート

【資料 3-1】 表面

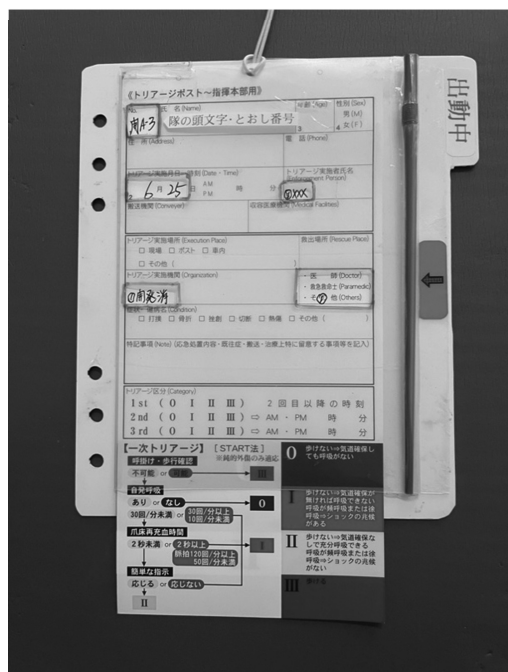


【資料 3-2】 裏面

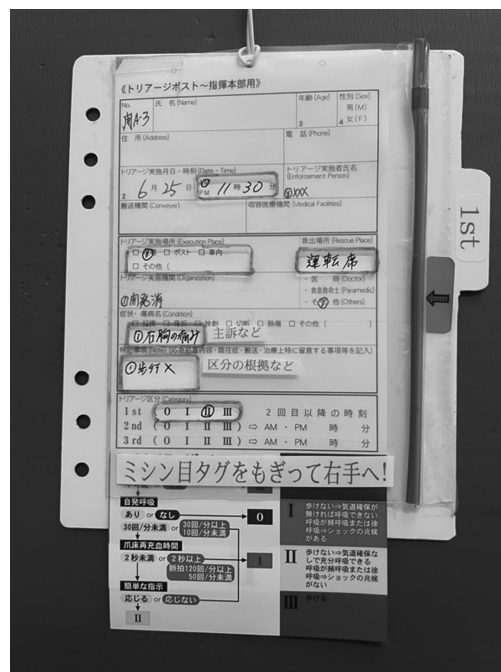


記入例を表示 準備後タグ入れ PAT法資料 PAT法資料

【資料 4】 各場面でトリアージタグテンプレートを使用した記入例



【資料 4-1】 「出動中用」

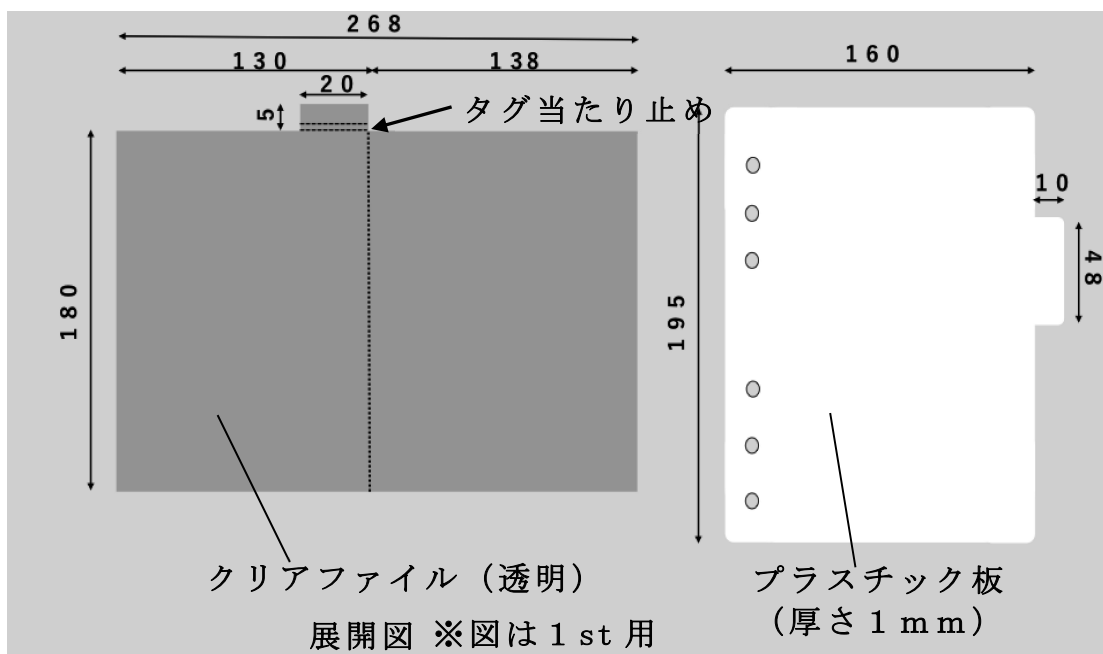


【資料 4-2】 「1st 用」

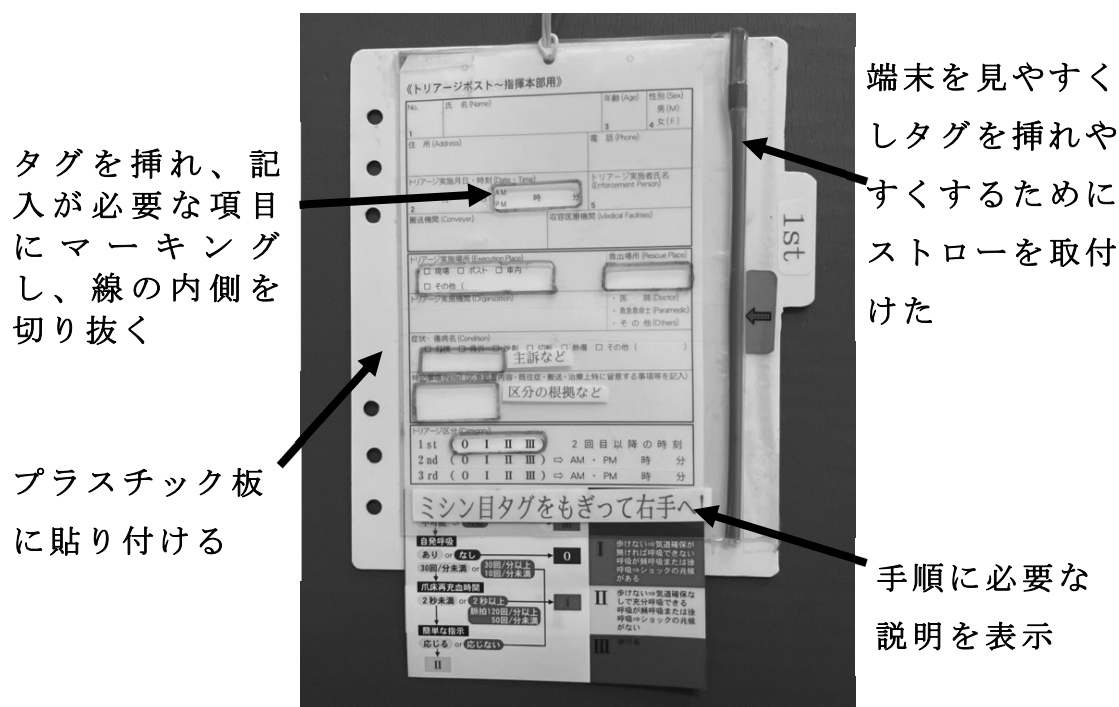
【資料 4-3】「2nd 用」

【資料 4-4】「3rd 用」

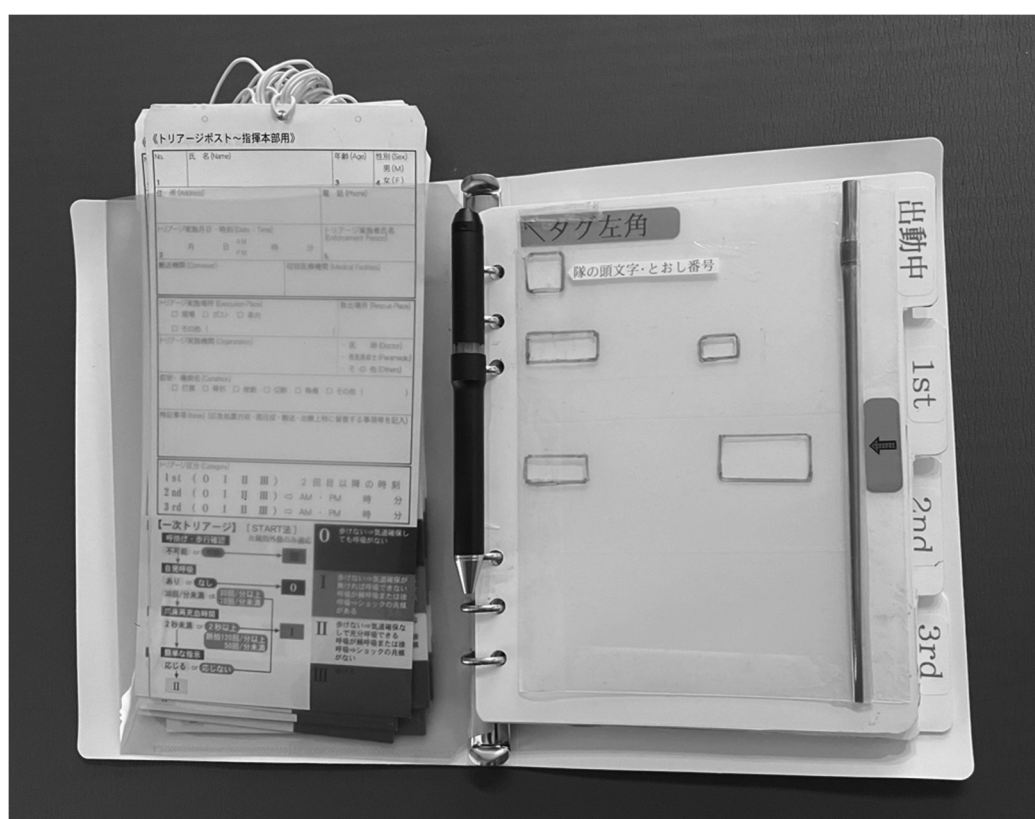
【資料 5】 トリアージタグテンプレート作成要領



【資料 5-1】クリアファイルとプラスチック板の加工図（単位：mm）

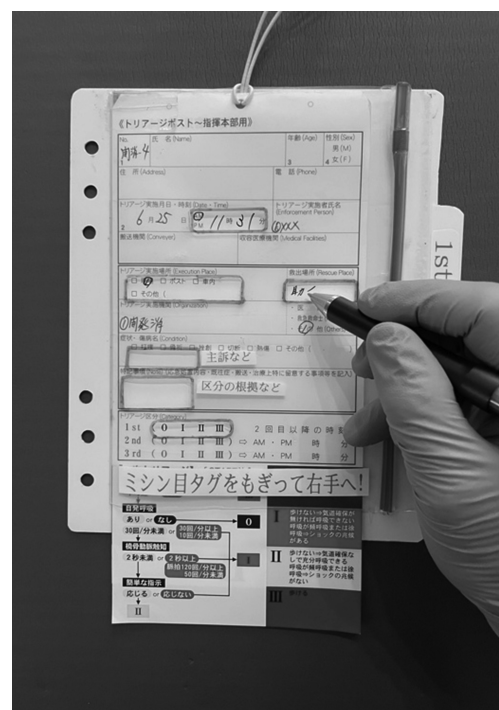
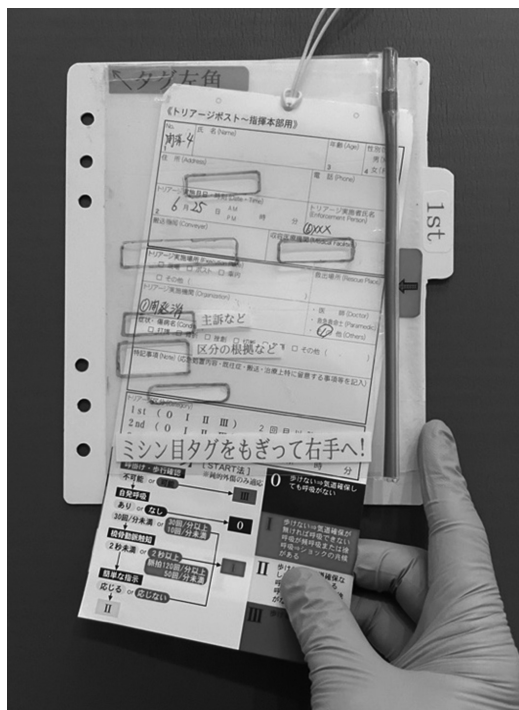


【資料 5-2】「1st 用」の作成例



【資料 5-3】リングバインダーに一式をまとめた状況

【資料 6】使用方法（各場面共通）



①右端からタグを挿れ、タグの左角上部を「当たり止め」に合わせる

②マーキング箇所に記入していく

【資料 7】



省スペースで積載できる

【資料 8】



携行性も良い

【資料 9】 タグテンプレートの有用性についての検証結果

＜検証方法＞

同じ想定内容の訓練を 2 日連日実施。必須記入項目を 9 項目（タグナンバー、名前、年齢、性別、トリアージ日時、搬送機関、搬送医療機関、負傷状況、トリアージ区分）とし、両日のタグ 2 枚目（指揮本部用）の記入状況を確認した。

なお、緊急度が赤（Ⅰ）と黄（Ⅱ）のタグ 7 名分を対象とした。

訓練日	1 日目: <u>使用あり</u>	2 日目: <u>使用なし</u>
タグを記入した場面と 隊員の勤続年数	1st・隊員A 6年目 2nd・隊員B 2年目 3rd・隊員C 5年目	1st・隊員D 4年目 2nd・隊員E 3年目 3rd・隊員F 5年目
傷病者①赤（Ⅰ）	1st区分	搬送医療機関 3rd区分
傷病者②赤（Ⅰ）	記入漏れなし	記入漏れなし
傷病者③赤（Ⅰ）	記入漏れなし	氏名 年齢
傷病者④黄（Ⅱ）	記入漏れなし	1stトリ実施時刻 搬送機関 3rd区分
傷病者⑤黄（Ⅱ）	記入漏れなし	搬送医療機関 3rd区分
傷病者⑥黄（Ⅱ）	記入漏れなし	3rd区分
傷病者⑦黄（Ⅱ）	記入漏れなし	搬送医療機関